

ようこそ、アムステルダム国立美術館へ (2008)

HET NIEUWE RIJKSMUSEUM
THE NEW RIJKSMUSEUM

メディア 映画

ジャンル ドキュメンタリー アート

製作国 オランダ

色彩 Color

時間 117分

初公開日 2010/08/21

公開情報 ユーロスペース

【解説】

レンブラントの『夜警』やフェルメールの『牛乳を注ぐ女』など数々の傑作を所蔵するオランダを代表する美術館、アムステルダム国立美術館。2004年、その開館以来となる大規模な改修工事が始まる。館長ドナルド・デ・レーウの指揮の下、スペイン人建築家クルス&オルティスの手による新美術館の設計プランが2008年の再オープンに向け動き出した。ところが、美術館を貫く通路が閉鎖されることに地元サイクリスト協会が猛反発、計画はスタート早々に躓いてしまう。その後も様々な問題が噴出、けんけんごうごうの中で計画は度重なる変更を余儀なくされ、再オープンのメドも立たない事態を迎えてしまう…。本作は、この改築工事の記録を依頼されたウケ・ホーヘンダイク監督が、囃らずもプロジェクトの大混乱に立ち会うこととなり、予期せぬ事態に直面して苦悩する館長や建築家、個性豊かな学芸員たちが繰り広げる悲喜こもごもの人間模様をカメラに収めたドキュメンタリー。

【クレジット】

監督	ウケ・ホーヘンダイク	Oeke Hoogendijk
製作	ピーター・ファン・ハイステ	Pieter van Huystee
脚本	ハンス・ドルトマンズ	Hans Dortmans
	ウケ・ホーヘンダイク	Oeke Hoogendijk
撮影	サンダー・スヌープ	Sander Snoep
編集	ハイス・ゼーヴェンベルヘン	Gys Zevenbergen
音楽	エルコ・ヴァン・デ・メーベルフ	Eelco van de Meeberg